

■平沢計七 労働運動家、小説家。労働文学や労働者消費組合の形成に寄与、〈関東大震災〉混乱中、拘引刺殺された。
ひらさわけいしち
帝国憲法発布1889＝ 新潟県北魚沼郡小千谷町で、鍛冶職人の長男に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 5歳：

子規句歌革新1898＝ 9歳：

日比谷公園・1903＝14歳：高等小学校を卒業し、日本鉄道大宮工場の職工見習生となる。

日露戦争終・1905＝16歳：このころより文学に手をそめ投稿を行い、小山内薫の知遇も得る。

韓国反日暴動1907＝18歳：

明治天皇没・1912＝23歳：

第一次大戦始1914＝25歳：_〔友愛会〕に入会、東京府南葛飾郡大島町(江東区)の東京スプリング工場に勤務。

21ヶ条要求・1915＝26歳：*〔友愛会〕の大島分会を結成、

民本主義・・・1916＝27歳：

本格政党内閣1918＝29歳：*出版部長・城東聯合会会長となり、機関誌〔労働及産業〕〔友愛婦人〕などに、労働者・労働生活に材をとる小説・戯曲・ルポルタージュを数多く発表し、

ベルサイユ条約・1919＝30歳：_代表作「創作・労働問題」も刊行するが、

大暴落・・・1920＝31歳：*内部対立により退会、新たに純労働者組合を組織。労働劇団を結成するなど労働文学の確立に貢献するとともに岡本利吉らと〔共働社〕を結成、労働者消費組合の濫觴もつくった。また、〔労働週報〕を通じて過激社会運動取締法案の統一的反対運動を組織する活動も行なったが、

原敬首相暗殺1921＝32歳：

関東大震災・1923＝34歳：*〈関東大震災〉の混乱のなか、純労働者組合の仲間とともに亀戸署に拘引され、習志野騎兵連隊により刺殺された〈亀戸事件〉。